

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第24週 （6月12日～6月18日）

## ★お知らせ

○夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱）に気を付けて

### 1)手足口病

**県全域で警報値(5.00)を超えています。**

定点医療機関当たりの報告数は第23週の4.00から第24週では7.73と増加し、警報値を超えています。須崎、高知市、安芸、幡多で急増、中央西、中央東で増加し、須崎、高知市、中央西、中央東では警報値を、安芸で注意報値を超えています。高知県では第18週以降6週連続して増加しており、また、過去5年間の同時期と比較しても多くなっています。

定点医療機関からのホット情報でも手足口病の流行が継続しているとの報告があります。

病原体検出情報では、第21週に搬入された検体で須崎からCA6（Coxsackievirus A6）が2件検出されています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第13週以降増加が続いていることから注意が必要です。

国内の手足口病由来のウイルス検出状況は、2017年第1週からの合計でCA6の割合が50.3%と最も多くなっています。

手足口病は、CA16（Coxsackievirus A16）、EV71（Enterovirus71）さらにCA6などのエンテロウイルスが病因となり、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

近年のCA6による手足口病では、従来の手足口病と発疹の出現部位が異なり、水疱は扁平で臍窩（発疹にくぼみがある）を認め、これまでより大きいことや、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例（爪甲脱落症）も報告されていますが、これらは自然に治るとされています。

手足口病は、回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第24週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前	
	第24週		第23週		第22週		第21週		第20週		第19週		第18週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
<b>高知県全域</b>	<b>7.73</b>	△	<b>4.00</b>	○	<b>2.60</b>	○	<b>1.07</b>	-	<b>0.83</b>	-	<b>0.10</b>	-	<b>0.03</b>	-
安芸	2.00	○	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央東	9.00	△	5.00	△	3.57	○	0.86	-	0.14	-	-	-	0.14	-
高知市	9.73	△	4.82	○	2.27	○	1.00	-	1.09	-	0.27	-	-	-
中央西	9.67	△	7.67	△	3.00	○	0.33	-	-	-	-	-	-	-
須崎	10.00	△	4.00	○	9.00	△	7.00	△	5.50	△	-	-	-	-
幡多	1.80	-	-	-	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-
全国	-	-	1.59	-	1.34	-	0.97	-	0.86	-	0.52	-	0.44	-

注意報値：○（2以上5未満） 警報値：△（5以上）

### 2)ヘルパンギーナ

定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.47から第24週では1.03と急増しています。須崎では急減していますが、高知市、幡多、安芸では急増、中央東で増加しています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎で、乳幼児を中心に夏季に流行するいわゆる夏かぜの代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤を呈し、口腔内に水疱や発赤が現れます。水疱は破れて痛みも伴います。2～4日で解熱し、通常は7日程度で治癒します。高熱による倦怠感や口腔内の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあります。合併症としては、熱に伴う熱性けいれんと、まれに髄膜炎

や心筋炎が生じることがあります。頭痛やおう吐、発熱が続く場合は主治医に相談しましょう。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることによって感染（飛まつ・接触感染）するので、一般的な予防対策（手洗い、うがい、咳エチケット等）を心がけることが大切になります。

症状がおさまった後も、2～4週間程度は便などにウイルスが排泄されるため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いを徹底しましょう。

### 3)咽頭結膜熱

定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.37から第24週では0.20と減少しています。幡多、中央西で急減し、高知市で減少しています。

定点医療機関からのホット情報ではアデノウイルス感染症として5例の報告があり注意が必要です。

咽頭結膜熱は、アデノウイルス感染による、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎を主症状とする小児に多い疾患で、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

### OA 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第23週の2.57から第24週では2.50と横ばいです。幡多、中央東で減少していますが、中央西で急増し、高知市では3週連続注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では溶連菌感染症として11例の報告があります。

また、学校等欠席者・感染症情報システム<sup>※</sup>でも37例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、まれに重症化し猩紅熱に移行する場合があります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症などがありますので、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第23週の2.90から第24週では3.33と横ばいです。中央西で急減していますが、須崎で急増、中央東、安芸で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス13例の報告があり、基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が4例報告されています。病原体検出情報では、第24週に搬入された検体で須崎からRotavirus group A G3が検出されています。また、病原性大腸菌やサルモネラ属菌、カンピロバクター属菌など細菌を原因とする胃腸炎6例の報告もあります。

学校等欠席者・感染症情報システム<sup>※</sup>でも10例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給しましょう。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。これら細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））を励行しましょう。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

### ☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのマダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

#### 発熱等の症状が出たとき






野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

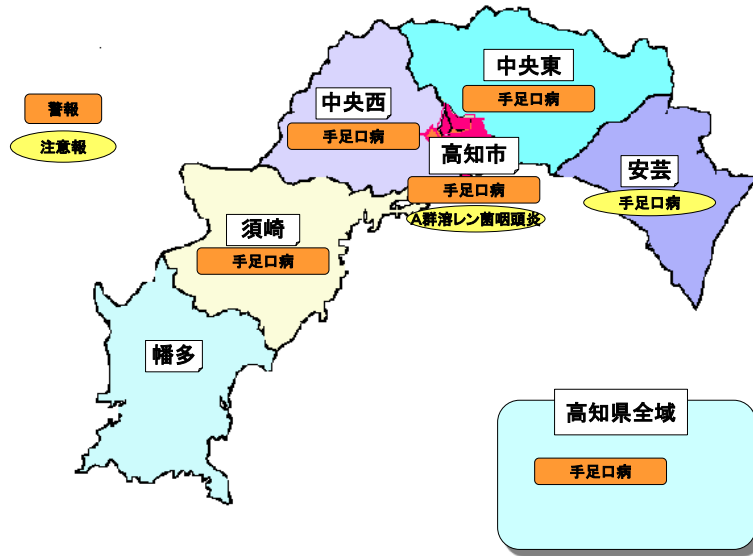
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

### ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減  
24週（6月12日～6月18日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
手足口病		7. 73	須崎、高知市、安芸、幡多で急増、県全域、中央東、中央西で増加しています。県全域、須崎、高知市、中央西、中央東で警報値、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		3. 33	中央西で急減していますが、須崎で急増、中央東、安芸、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		2. 50	幡多、中央東で減少していますが、中央西で急増し、高知市で注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ		1. 03	須崎で急減していますが、県全域、高知市、幡多、安芸で急増、中央東で増加しています。
突発性発疹		0. 57	須崎で急減、中央東で減少していますが、中央西で急増、県全域、高知市で増加しています。

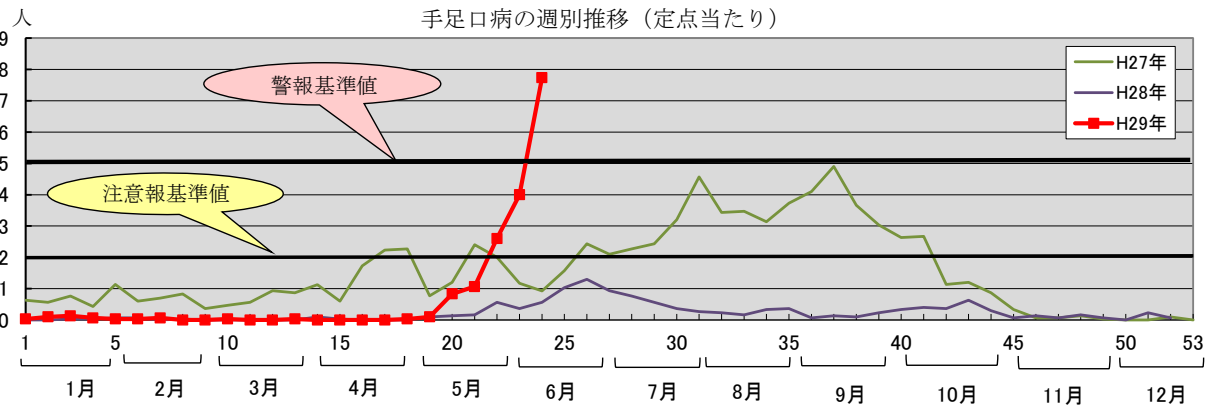
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

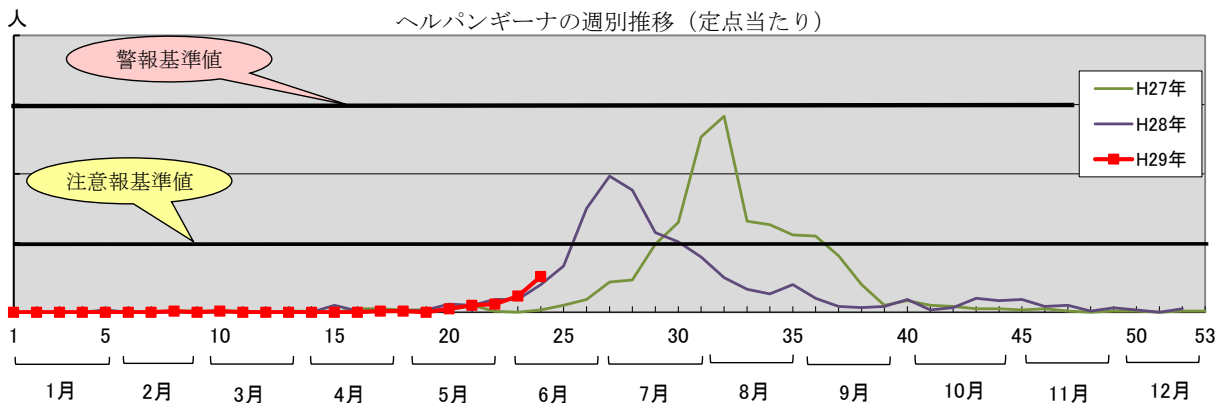
○手足口病 第24週：7.73 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 7.73 (前週：4.00) と増加し、警報値を超えています。須崎 10.00 (前週：4.00) 高知市 9.73 (前週：4.82) 安芸 2.00 (前週：0.50) 幡多 1.80 (前週：0.00) で急増、中央東 9.00 (前週：5.00) 中央西 9.67 (前週：7.67) で増加し、須崎、高知市、中央西、中央東では警報値、安芸では注意報値を超えています。報告を年齢別にみると、96%が4歳以下になっています。



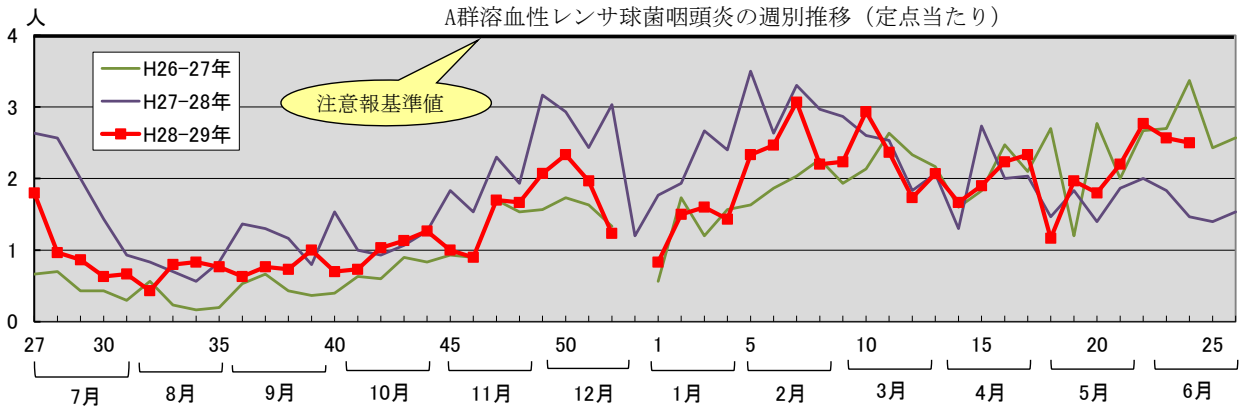
○ヘルパンギーナ 第24週：1.03 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.03 (前週 0.47) と急増しています。須崎 0.00 (前週：0.50) で急減していますが、高知市 1.00 (前週：0.09) 幡多 1.00 (前週：0.00) で急増、中央東 1.43 (前週：1.14) で増加しています。



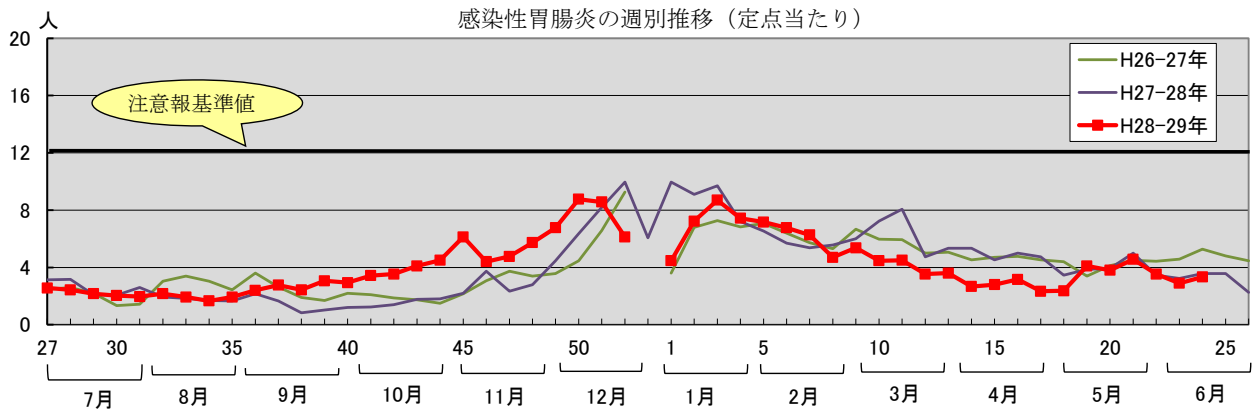
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第24週：2.50（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.50（前週：2.57）と横ばいです。幡多 1.80（前週：2.40）中央東 1.57（前週：2.57）で減少していますが、中央西 1.33（前週：0.33）で急増し、高知市 4.64（前週：4.18）では3週連続で注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第24週：3.33（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.33（前週：2.90）と横ばいです。中央西 0.33（前週：1.00）で急減していますが、須崎 4.50（前週：2.00）で急増、中央東 3.43（前週：2.57）安芸 3.00（前週：2.00）幡多 2.60（前週：1.40）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	感染性胃腸炎	37℃,嘔吐,嘔気,	5	男	須崎	Rotavirus group A G3

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	咽頭結膜熱	39℃,	1	男	須崎	Adenovirus 2
21	手足口病	39℃,	1	女	須崎	Coxsackievirus A6
21	手足口病	40℃,	2	女	須崎	Coxsackievirus A6
21	不明発疹症	発疹,	1	男	須崎	Echovirus 7
21	不明発疹症	38℃,発疹,	3	男	須崎	Echovirus 7
21	不明発疹症	発疹,	2	女	須崎	Echovirus 7
21	手足口病?	39℃,発疹,	1	女	須崎	Echovirus 7
21	手足口病		1	女	幡多	Echovirus 7
21	消化器感染症	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	中央東	Sapovirus genogroup unknown
22	突発性発疹	39℃,下痢,発疹,	1	女	須崎	Cytomegalovirus
22	手足口病	39℃,発疹,	1	女	幡多	Cytomegalovirus
22	—	38℃,咳漱,上気道炎,	2ヶ月	男	中央東	Parainfluenza virus 3
23	伝染性紅斑	下痢,発疹,	14	女	須崎	human parvovirus B19
23	インフルエンザ様疾患	39℃,上気道炎,	2	女	高知市	Parainfluenza virus 3

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	40	90歳代 男	高知市
		1		70歳代 男	須崎
5類	後天性免疫不全症候群	1	5	30歳代 男	中央東

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	保育園で手足口病流行中（6ヶ月から4歳まで13名） 小学校で溶連菌感染症流行（再発例や兄弟発生多い）
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎1例（6歳女） 病原性大腸菌 O-1 腸炎1例（11歳男） ロタウイルス腸炎1例（2歳女） アデノウイルス扁桃炎2例（1歳2人） 百日咳1例（14歳女：PT-IgG 160以上 EU/ml）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症11例 手足口病が流行している 水痘1例（3歳男：ワクチン1回済み）
	細木病院小児科	ロタウイルス3例（1歳女、2歳男、4歳女） カンピロ2例（1歳女、3歳女） サルモネラ2例（7歳男、10歳男）
中央西	くぼたこどもクリニック	水痘1例（6歳女：四万十町）
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎1例（15歳女） マイコプラズマ気管支炎2例（10歳女、23歳女） アデノウイルス扁桃炎3例（1歳男、5歳女、6歳女）
須崎	もりはた小児科	ロタウイルス胃腸炎9例 手足口病の流行が続く（CoxA6が主に検出される）

★全国情報

第22号（5月29日～6月4日）

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核368例
- 3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症45例、パラチフス1例
- 4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎7例、重症熱性血小板減少症候群4例、つつが虫病3例、デング熱2例、日本紅斑熱17例、レジオネラ症17例
- 5類感染症：アメーバ赤痢16例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎8例、クリプトスポリジウム症2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群16例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症46例、水痘（入院例に限る）13例、梅毒89例、播種性クリプトコックス症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん4例、麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒49例、播種性クリプトコックス症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例

削除予定：麻しん1例



高知県感染症情報(59定点医療機関)

第24週 平成29年6月12日(月)～平成29年6月18日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週未累計) H29/1/2～H29/6/18	全国(23週未累計) H29/1/2～H29/6/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ								( )	1 ( 0.02)	1,539 ( 0.31)	14,629 ( 304.77)	1,355,457 ( 273.55)	
小児科	咽頭結核膜炎			2	3				1	6 ( 0.20)	11 ( 0.37)	3,080 ( 0.97)	182 ( 6.07)	33,208 ( 10.50)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			11	51	4			9	75 ( 2.50)	77 ( 2.57)	10,890 ( 3.45)	1,496 ( 49.87)	175,515 ( 55.49)
	感染性胃腸炎	6	24	47	1	9	13	100 ( 3.33)	87 ( 2.90)	20,784 ( 6.58)	3,294 ( 109.80)	440,432 ( 139.25)		
	水痘		3	10	1	2		16 ( 0.53)	8 ( 0.27)	1,311 ( 0.42)	319 ( 10.63)	27,256 ( 8.62)		
	手足口病	4	63	107	29	20	9	232 ( 7.73)	120 ( 4.00)	5,026 ( 1.59)	507 ( 16.90)	27,746 ( 8.77)		
	伝染性紅斑		3		1			4 ( 0.13)	2 ( 0.07)	257 ( 0.08)	83 ( 2.77)	5,807 ( 1.84)		
	突発性発疹		2	11	2			17 ( 0.57)	14 ( 0.47)	1,726 ( 0.55)	266 ( 8.87)	32,147 ( 10.16)		
	百日咳				1			1 ( 0.03)	( )	36 ( 0.01)	16 ( 0.53)	586 ( 0.19)		
	ヘルパンギーナ	1	10	11	4		5	31 ( 1.03)	14 ( 0.47)	1,356 ( 0.43)	65 ( 2.17)	5,917 ( 1.87)		
	流行性耳下腺炎			2	1	2	2	7 ( 0.23)	4 ( 0.13)	1,592 ( 0.50)	149 ( 4.97)	43,245 ( 13.67)		
RSウイルス感染症			1				1 ( 0.03)	( )	787 ( 0.25)	223 ( 7.43)	19,107 ( 6.04)			
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	8 ( 0.01)	( )	203 ( 0.29)		
	流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	( )	605 ( 0.87)	10 ( 3.33)	9,346 ( 13.47)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	6 ( 0.01)	1 ( 0.13)	228 ( 0.48)		
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.13)	( )	20 ( 0.04)	4 ( 0.50)	367 ( 0.77)		
	マイコプラズマ肺炎			1			1	2 ( 0.25)	1 ( 0.13)	98 ( 0.21)	64 ( 8.00)	3,849 ( 8.07)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	( )	5 ( 0.01)	6 ( 0.75)	119 ( 0.25)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			3			1	4 ( 0.50)	8 ( 1.00)	103 ( 0.22)	74 ( 9.25)	4,484 ( 9.40)		
計(小児科定点当たり人数)	11 ( 5.50)	118 ( 16.87)	250 ( 22.18)	43 ( 14.32)	33 ( 16.50)	43 ( 8.20)	498 ( 16.31)			49,229	21,388 ( 524.78)	2,185,019		
前週(小児科定点当たり人数)	5 ( 2.50)	89 ( 12.42)	179 ( 15.64)	33 ( 10.99)	14 ( 7.00)	27 ( 5.33)		347 ( 11.27)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週未累計) H29/1/2～H29/6/18	全国(23週未累計) H29/1/2～H29/6/11
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ									0.02	0.31	304.77	273.55	
小児科	咽頭結核膜炎			0.29	0.27				0.20	0.20	0.37	6.07	10.50	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.57	4.64	1.33			1.80	2.50	2.57	49.87	55.49	
	感染性胃腸炎	3.00	3.43	4.27	0.33	4.50	2.60	3.33	2.90	6.58	109.80	139.25		
	水痘		0.43	0.91	0.33	1.00		0.53	0.27	0.42	10.63	8.62		
	手足口病	2.00	9.00	9.73	9.67	10.00	1.80	7.73	4.00	1.59	16.90	8.77		
	伝染性紅斑		0.43		0.33			0.13	0.07	0.08	2.77	1.84		
	突発性発疹		0.29	1.00	0.67		0.40	0.57	0.47	0.55	8.87	10.16		
	百日咳				0.09			0.03		0.01	0.53	0.19		
	ヘルパンギーナ	0.50	1.43	1.00	1.33		1.00	1.03	0.47	0.43	2.17	1.87		
	流行性耳下腺炎			0.18	0.33	1.00	0.40	0.23	0.13	0.50	4.97	13.67		
RSウイルス感染症			0.09				0.03		0.25	7.43	6.04			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.29		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.87	3.33	13.47		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.48		
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.04	0.50	0.77		
	マイコプラズマ肺炎			0.20			1.00	0.25	0.13	0.21	8.00	8.07		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.01	0.75	0.25		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			0.60			1.00	0.50	1.00	0.22	9.25	9.40		
計(小児科定点当たり人数)	5.50	16.87	22.18	14.32	16.50	8.20	16.31			524.78				
前週(小児科定点当たり人数)	2.50	12.42	15.64	10.99	7.00	5.33		11.27						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869